

Sophia University
Human Resources Center for
International Cooperation



上智大学
国際協力人材育成センター

SHRIC

年次活動報告書2025

《2025年度年次活動報告書の刊行にあたって》



センター所長 近藤 哲生（特任教授）

上智大学国際協力人材育成センター（SHRIC）は、2015年7月の創設より、国際協力の分野で活躍できるグローバル人材の育成を目標とし、精力的な活動を続けています。またセンターの活動は、本学の学生のみならず一般の皆さまにも公開しています。最近では高校生も多く参加しています。2025年度はオンライン、ハイフレックス、対面と柔軟にイベントを実施しました。多様な実施方法によりイベントや講座では、東京近郊以遠の地域や海外からも多くの方に参加いただきました。本学恒例の「アフリカWeeks」(5月)や「国連Weeks」(6月・10月)は、主にハイフレックス形式にて開催され、当センターも世界が直面するグローバル課題としてSDGs、人道支援、国際的な人の移動、難民映画祭、平和構築、大阪・関西万博国連参加報告など多岐にわたる分野のイベントを企画、実施しました。その他では、当センター主催のキャリアセミナーやブラウンバッグミーティングも国際機関や国連職員の方々との協力を得て実施し、その他に「人間の安全保障と国際協力」をテーマに、地雷撤去と地雷回避教育に関するセミナーを開催しました。また、上智大学中央図書館では、人間の安全保障と平和構築の連続セミナーを部分的に共催しました。いずれの企画も大変好評となりました。

さらに当センター主催の公開講座、「国際公務員養成コース」と「国際公務員養成英語コース」(春期・秋期)、「緊急人道支援講座」(春期・秋期)、高校生限定の「ソフィア未来塾」も全てオンラインにて開講しました。これらすべての講座を合わせて日本国内、海外から約600名の受講者がありました。

国際協力に関する推薦図書リストを当センターホームページに新設しました。四谷キャンパス中央図書館所蔵の国際協力関連書籍リストも掲載したことで、入門から専門的な学びまで多くの方に関心を広げるきっかけとして活用できるようになりました。

現在、世界の多極化が進み自国第一主義が台頭する中、紛争の解決や気候変動への対処、持続可能な開発や発展の推進などグローバルな課題解決に国際協力の必要性はこれまで以上に高く、国際協力分野で活躍できる人材育成が急務です。当センターでは、グローバル人材の育成を通じてさらに国際社会に貢献できるように尽力しています。

センター所員

(2026年3月現在)

- センター所長 近藤 哲生（グローバル教育センター特任教授）
- センター副所長 梅宮 直樹（グローバル教育センター教授）
- 所員 曄道 佳明（前学長、理工学部教授）
東 大作（グローバル教育センター教授）
小松 太郎（総合人間科学部教授）
まくどなど あん（大学院地球環境学研究科教授）
鈴木 政史（大学院地球環境学研究科教授）
- 客員所員 浦元 義照（元GR Japanシニアコンサルタント）
柴田 晋吾（大学院地球環境学研究科客員所員）
山崎 瑛莉（総合人間科学研究科共同研究員・文部科学省「大学の世界展開力強化事業（アフリカ）」コーディネーター）

☎ 03-3238-4687

✉ hrc-ic-co@sophia.ac.jp



<https://dept.sophia.ac.jp/is/shric/>



2025年度の活動

公開講座

国際公務員養成コース 春期 秋期 オンライン

国際公務員養成英語コース 春期 秋期 オンライン (※講義は英語)

本年度もオンラインコースとして、各12セッションを平日の夜間と土曜日を利用して行い、日本国内外より、多くの社会人や学生に参加いただきました。センター所長の近藤哲生教授がコーディネーターを務め、養成コースは、元国連広報官、元国連人事官、元国際労働機関人事官、世界銀行などで務められた経歴のある方、外務省の国際機関人事センター室長などを中心に行い、英語コースは、国連事務局で長年勤務され、英国で英語教員の資格を持つアン＝マリー・アイバネス先生にお願いしています。



国連本部

© UN Photo/Manuel Elias



アン＝マリー・アイバネス氏



伊藤美保子氏

実務型国連集中研修 夏期 ニューヨークにて実施

また、8月にはニューヨークの国連本部や国際機関において5日間の「実務型国連集中研修プログラム」を開催しました。講義では、国連の現職スタッフや元職員を講師に招き、履歴書の書き方やコンピテンシー面接などの実践的演習を行いました。実際の現場を身近に感じることができ、将来のキャリアプランがより具体的になるような効果があります。本年度は、応募者数が定員に達しなかったため、当該講座は休講いたしました。

いずれの講座も高評価を得ており、受講した方の中からも、国連職員や国際機関に採用された方が出てきており、少しずつですが成果を挙げてきています。

緊急人道支援講座 春期 人道支援の基礎知識 秋期 人道支援の基礎スキル オンライン

本講座は、緊急人道支援に取り組むための基礎的知識やスキルを身に付け、その後のキャリアに生かしてもらうことを目的とし、講義と演習を組み合わせる効果的な学びを得られるように工夫されています。講座は当センター所員で総合人間科学部教育学科の小松太郎教授が監修し、日本国際ボランティアセンター（JVC）の木村万里子氏にコーディネーターをお願いしています。また元国連WFPの忍足謙朗氏には講義だけではなくアドバイザーとしてもご協力いただいています。その他NGOや国連、ICRC、民間機関等から経験豊富な講師陣が体系的カリキュラムに沿って講義を行いました。受講者の中には早速緊急人道支援の仕事に就く方や、受講終了直後に現場に赴く方もおり、講座での学びが役に立っているようです。

講座監修：
小松 太郎教授コーディネーター：
木村 万里子氏アドバイザー：
忍足 謙朗氏

ソフィア未来塾 春期 秋期 オンライン

本講座は、高校生を対象に、2024年5月から「ソフィア未来塾」としてオンラインで開講しました。国連やユニセフ、国連難民高等弁務官事務所、国連開発計画、世界銀行などの現役および元職員と高校生が対話する新しい試みとなりました。

近藤所長がコーディネーターを務め、春学期に5つの講義が行われ、全国の高校生から沢山の参加申し込みをいただき大好評の講義となりました。多くの学生が世界の諸問題に高い関心に向け、講義終盤には沢山の質問が寄せられました。変わりゆく世界の現状やグローバル社会が直面している諸問題に対して専門家と共に考える貴重な機会となりました。

シンポジウム・講演会

国連Weeks

国連アカデミック・インパクトの参加大学である本学では、「国連の活動を通じて、世界と私たちの未来について一緒に考えるとともにSDGsの促進に寄与すること」をコンセプトにさまざまな企画を実施しており、国際協力人材育成センターもこれまで数多くのシンポジウムや講演会、キャリアセミナーを企画し開催しています。

◀第23回▶

6月10日「JICAと人間の安全保障：理念と実践～国際機関との連携も含め～」

国際協力機構（JICA）理事長の田中明彦氏を招いたシンポジウムを開催しました。田中氏は、人間の安全保障の理念形成と国家安全保障の限界を踏まえ、戦争や災害、疫病などの複合的脅威への対応の重要性を解説し、平和構築に向けたJICAの具体的な取組と多様な主体との協働の意義を示しました。後半のパネルディスカッションでは多くの質問が寄せられ、一つ一つ丁寧なご回答をいただきました。（モデレーターは東所員）

【主催】上智大学

【共催】上智大学グローバル教育センター／上智大学国際関係研究所／上智大学人間の安全保障研究所／上智大学国際協力人材育成センター／Japan Global Dialogue(NPO) 【後援】上智大学ソフィア会



6月10日 シンポジウムのチラシ

6月12日「国際的な人の移動：現状と課題」

国際移住機関（国連IOM）アジア太平洋地域代表の加藤伊織氏によるビデオメッセージを皮切りに、「国際的な人の移動」をテーマとして4名の専門家が現状と課題を分析しました。前南山大学教授の平岩恵理子氏よりアジアにおける国際労働力移動を経済学の視点から論じていただき、経団連の脇坂大介氏には、日本における外国人労働者の動向や人材獲得競争について報告いただきました。上智大学法学部の岡部教授は、「マイグレーション・スタディーズの現状と課題—欧米の事例を中心に—」と題し、移民研究の知見を踏まえ、欧米の事例を中心に移民政策を国家レベルおよび国際レベルの双方から分析いただきました。国連IOM駐日代表のナッケン鯉都氏は国際的な人の移動の現状と課題について、国際移住ガバナンスと社会統合の観点から、お話いただきました。後半のパネルディスカッションでは活発な質疑応答が行われ、理解を深める機会となりました。（モデレーターは梅宮副所長）

【共催】国際移住機関（国連IOM）



6月12日 シンポジウム

【展示会】6月10日～6月24日「国連IOM ロヒンギャ文化記憶センター ワールドツアー」

バングラデッシュ東南部にある100万人規模の難民キャンプ。故郷を追われ、長期化する避難生活を送るロヒンギャの人々が、文化や伝統の保全と、心のケア等のために制作した作品を展示しました。



6月10日～6月24日 展示会

6月20日「難民映画祭 上映作品『ビバ・マエストロ！指揮者ドゥダメルの挑戦』

アジア経済研究所地域研究センター主任研究員のベネズエラ地域をご専門の坂口安紀氏より、映画上映前に「ベネズエラの苦悩、ドゥダメルの苦悩」という題で講演いただきました。本作品と関連して、政治経済的な視点から、ベネズエラ情勢について避難民・移民の流れや経済状況、子どもたちの教育（音楽教育）などについて国内外の情勢を踏まえ分析いただき、ご講演後『ビバ・マエストロ！指揮者ドゥダメルの挑戦』を上映しました。多くの来場者から「ベネズエラ情勢について理解が深まった」等の感想をいただきました。（モデレーターは梅宮副所長 後援：国連UNHCR協会）

《第24回》

10月15日「情報通信技術が拓く新たな社会」

理工学部企画の本講演会では、理工学部長の澁谷智治教授の冒頭挨拶から始まり、招待講演として3名の専門家を招き、情報通信分野の先端技術を取り上げ、サイバー空間と実空間が融合する社会の将来像について展望しました。

●招待講演

「科学技術・イノベーション基本計画について」ー 水井 健太 氏（内閣府科学技術・イノベーション推進事務局参事官補佐）

「世の中に浸透するAI技術の最前線」—— 岩澤有祐 准教授（東京大学大学院工学系研究科）

「情報社会を支える光通信技術の最前線」—— 山崎裕史 氏（NTT株式会社先端集積デバイス研究所特別研究員）

【主催】上智大学、上智大学理工学部

【共催・パートナー】内閣府科学技術・イノベーション推進事務局、東京大学大学院工学系研究科、NTT株式会社先端集積デバイス研究所（モデレーターは理工学部の高橋浩教授）



6月20日 映画上映前の講演



10月15日 講演会のチラシ

10月24日「国連創設80年、大阪・関西万博国連参加報告」

国際連合（国連）創設80周年を迎え、これまでの多国間主義の変容や国際社会の変動などについて議論しました。基調講演では、国連事務次長補兼大阪・関西万博国連パビリオン陳列区域代表のマーヘル・ナセル氏にご登壇いただき、国連パビリオンでの展示や活動内容、来場者の属性や反響などについての分析結果をご報告いただきました。国連広報センターの根本かおる所長に国連の役割と意義についてご講演いただき、国連グテーレス事務総長のビデオメッセージを紹介いただきました。後半は、トークセッションと質疑応答が行われ、これからの国連の歩みや国連でのキャリアなど多くの質問が寄せられ、参加者と共に国際社会の現状や課題を考えるインタラクティブな交流となりました。（モデレーターは近藤所長）

【展示】10月6日～10月30日「彼女たちから見える世界：平和のために立ち上がる女性たち」▶

本展示では、紛争の影響を受けた地域にあって、社会を変革し、未来のために声を上げる女性たちを紹介しました。Expo2025 大阪・関西万博国連パビリオン前で8月16日から30日まで展示されました。（Photo：UN Pavilion）



10月24日 大阪・関西万博国連参加報告



10月21日「中東の紛争終結と平和構築の課題」 オンライン

ガザやシリアも含め、中東地域における紛争をどう終結させ、持続的な平和を構築するか、アブダラ・アル・ダルダリ UNDP国連事務次長補（アラブ担当局長）と共に議論しました。また、ヨルダン大学やサウジアラビアに本部があるイスラム協力機構（OIC）の専門家にも参加していただき、グローバルにこの問題を議論しました。後半の質疑応答では高校生からも多くの質問があり、盛況となりました。

【主催】上智大学 【共催】上智大学国際関係研究所／上智大学人間の安全保障研究所／Japan Global Dialogue (NGO)／上智大学グローバル教育センター／上智大学国際協力人材育成センター／ヨルダン大学国際戦略研究所

【協力】イスラム協力機構（OIC）

（モデレーターは東所員）



10月21日 オンラインシンポジウムのチラシ

10月30日「紛争・災害後の子どもと若者の心のケア：

創造的活動と国際交流を通じた平和構築の試み」

紛争や災害の子どもと若者の心のケアについて、ウクライナ、ボスニア・ヘルツェゴビナ、日本の事例を基に、専門家と絵画・視覚芸術アーティストを招き、シンポジウムを開催しました。基調講演として、ウクライナ・カトリック大学副学長のドミトロ・シェレンゴフスキー教授は、事例の紹介から紛争や災害後のトラウマを乗り越える若者の心理社会的側面からの支援の重要性についてお話をいただきました。また、サラエボ大学のラリサ・カスマギッチ-カフェジッチ准教授の基調講演では、トラウマに配慮した平和教育の必要性を強調しました。次に、絵画・視覚芸術アーティストのムハメッド・カフェジッチ氏（ムハ氏）の創作活動等の紹介が行われアートと平和について語られました。日本プレイセラピー協会理事で臨床心理士の本田涼子氏からは、被災地で行った治療的遊び研修について紹介いただきました。後半は、パネルディスカッションを実施し、遊びやアートを通じて創造性を高め、心のケアを行っていく可能性について議論を深めました。（モデレーターは小松所員）



10月30日 シンポジウム



ムハ氏と上智生の協働作品

キャリアイベント

さまざまな国際機関と共同で、各機関をより身近に感じ理解してもらうことを目的にキャリアセミナーを企画しています。

4月3日 欧州復興開発銀行（EBRD）キャリアセミナー

…………… ハイフレックス形式にて開催

【共催】欧州復興開発銀行（EBRD）、上智大学国際関係研究所（SIIR）

11月6日 キャリアセミナー：世界銀行グループで働く

…………… ハイフレックス形式にて開催

11月17日 国際通貨基金（IMF）キャリアセミナー

…………… ブラウンバッグミーティング形式にて開催

12月16日 上智大学×JICA 国際協力キャリアセミナー

…………… 対面にて開催

JICA副理事長の宮崎 桂氏が来訪されました。



11月6日世界銀行キャリアセミナーのチラシ



12月16日国連協力キャリアセミナーのチラシ

キャリア・セッション「国際機関・国際協力キャリア・ワークショップ」

国際機関や国際協力分野における様々なフィールドの第一線で活躍されている本センターのアドバイザー・ネットワークの方々や外務省国際機関人事センターのご担当者をゲストに迎え、グローバルキャリアについての講演や参加者とのクロストークセッションを開催しました。 **講演のみオンライン配信**
(所属機関名および役職名は開催日現在のもの)

《6月17日》春の国連Weeks

基調講演：「国際機関で学んだリーダーシップ」

成田 詠子 氏 (国連人口基金 (UNFPA) 駐日事務所長)

来賓挨拶：マーシー・テンボン 氏 (世界銀行副総裁兼官房長)
(モデレーター) 梅宮 直樹 教授 (国際協力人材育成センター副所長)

キャリア・ワークショップ：

- マーシー・テンボン 氏 (世界銀行 副総裁兼官房長)
- クリスティーナ・ンセクラ 氏 (世界銀行副総裁兼官房長室分析官)
- 今村 英章 氏 (世界銀行日本代表理事)
- 大森 功一 氏 (世界銀行 東京事務所 上級対外関係担当官)
- 高梨 寿 氏 (一般社団法人海外コンサルタンツ協会 前専務理事 (元UNIDO))
- 木下 直茂 氏 (アフリカ開発銀行 (AfDB) アジア代表事務所次席 リードプログラムコーディネーター)
- 成田 詠子 氏 (国連人口基金 (UNFPA) 駐日事務所長)
- 近藤 整 氏 (独立行政法人国際協力機構 (JICA) 人事部参事役)
- 中村 貴弘 氏 (独立行政法人国際協力機構 (JICA) 人事部企画課長)
- 竹信 裕美 氏 (独立行政法人国際協力機構 (JICA) 人事部開発協力人材室)
- 美土路 昭一 氏、保坂 朝子 氏 (外務省国際機関人事センター)
- 梅宮副所長、小松所員、山崎所員 (国際協力人材育成センター)



春の国連Weeks
チラシ



秋の国連Weeks
チラシ



ワークショップの様子(6月)

《10月21日》秋の国連Weeks

基調講演：Sustainable Development

ハジアリッチ 秀子氏 (国連開発計画 (UNDP) 駐日代表)

(冒頭挨拶・モデレーター) 近藤 哲生 教授 (上智大学特任教授、国際協力人材育成センター所長)

キャリア・ワークショップ：

- 浦元 義照 氏 (GR Japanシニアコンサルタント、元国際労働機関 (ILO) 事務局長補アジア太平洋地域総局長)
- サウル・ゲレロ 氏 (国連児童基金 (UNICEF) 東京事務所代表)
- ナッケン 鯉都 氏 (国際移住機関 (国連IOM) 駐日代表)
- 津村 康博 氏 (世界食糧計画 (WFP) 日本事務所代表)
- 近藤 千華 氏 (国連開発計画 (UNDP) アフリカ局TICAD連携専門官)
- 美土路 昭一 氏、鈴木 賢史 氏 (外務省国際機関人事センター)
- 近藤所長、梅宮副所長、山崎客員所員 (国際協力人材育成センター)



ハジアリッチ秀子氏による基調講演

出版事業

2018年から毎年新刊が登場

【国際協力・国際機関人材育成シリーズ】

グローバルキャリアのすすめ

発行元：株式会社国際開発ジャーナル社

発売所：丸善出版株式会社

「子どもと開発をめぐる旅 -ユニセフ職員30年記-」

2025年3月発行

著者：穂積 智夫

：元国連児童基金 (UNICEF) 職員

最新刊



国際協力・国際機関人材育成シリーズの
NO.1から最新刊までの
詳しい内容はこちら



1 「世界銀行ダイアリー」

2018年4月発行 著者：鈴木 博明：元世界銀行主席都市専門官

2 「歴史に生きる」

2019年1月発行 著者：植木 安弘：上智大学名誉教授/元国連広報官

3 「国際緊急人道支援のキャリアと仕事」

2020年4月発行 編集：小松 太郎：上智大学総合人間科学部教授

4 「格差と夢」

2021年4月発行 著者：浦元 義照：元上智大学 特任教授/元UNICEF、UNIDO、ILO職員

5 「心の中に平和のとりでを築く」に魅せられて

2022年4月発行 著者：山下 邦明：元国際連合教育科学文化機関 (UNESCO) 職員

6 「国際公務員とキャリア戦略」

2023年4月発行 著者：茶木 久実子 (元国連人事官)、玉内 みちる (元ユニセフ人事官)

7 「人新世 一人類よ、絶滅を選ばない」

2024年3月発行 著者：近藤 哲生：上智大学国際協力人材育成センター所長
上智大学グローバル教育センター特任教授/前 国連開発計画 (UNDP) 駐日代表

上智大学 <https://www.sophia.ac.jp>

国際協力人材育成センター 〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 1号館1階 SFDP推進室内 Tel：03-3238-4687

SHRIC Facebook

<https://www.facebook.com/SophiaHRIC/>



SHRIC X

@SHRIC2015



SHRIC Instagram

shric_sophia

